

愛媛県連盟の大西です。会長になり私が感じた事を少し書き綴ってみたいと思います。

西部ブロック運営委員会とは何が話し合われており、どのような雰囲気なのだろうと興味津々で出席しました。

会議内容は、DSC の皆様に関わりのある競技会開催全般や昇降級の規程の確認など、多岐にわたって話し合いが行われておりました。皆さん熱心に討議をしているのですが、何故に此処まで熱心に来るのだろう、しかも無給で…私は皆様の責任感の強さを感じ、更にはダンスが心底好きなんだなぁと感じ入りました。そして、そんな献身的な会長や役員の皆様のご努力を知って欲しいと、そう思わずにはられません。

会長であった私は、県レベルであまり興味のなかった「ダンスパーティ」「資格試験」そして「競技会」などの主催に忙殺されました。何しろ初めての経験で何も分からなかったものですから、気持ちだけが先行してバタバタするだけでした。無事乗り切れたのも連盟役員・会員・愛媛 DSC の皆様の献身的なご協力があればこそでした。しかし多くの方が参加して行われている催し事ですから様々な方がいらっしやいました。

中でも私の頭を悩ませたのは、一丸となり前進しようとする中、皆と足並みを揃えられず勝手な行動をとられる方々でした。その様な方達に対して思いが伝わるようにと願い「忍」の一文字でした。長年携わっていると、誰しもが傲慢な考えを持ってしまいがちです。そんな時にこそ周りに目を向け、お互いに協力し合い感謝の気持ちを示し行動できれば良い結果が得られるのではないのでしょうか。また私自身もそうありたいと思っております。

就任当初は嫌々していた会長職でしたが、今ではやらせて頂き本当に良かったと思えます。何か役職が付けば良いことも悪いことも含めて、今まで見えなかったものが見えるようになる気がしました。かけがえのない仲間も出来ました。皆様も是非連盟運営に積極的に関わって下さい。ただ参加をして得る喜びより、共に協力し合い得られる喜びを感じて頂きたい、そう思います。

さて、最後になりましたが会長からということで書き始めたこの手紙、皆様が読まれる頃には私は辞任をし、越智さんが新会長となっている事と思います。会長職は4年という期間でしたが、アツという間でもあり長くも感じられました、会長として右も左も分からない私を支えて協力して下さった方々には心より感謝を申し上げます。また新たに就任された越智新会長にもこれまでと変わりなきご支援とご協力をお願いいたします。本当にありがとうございました。